

ベビーシッター情報

2009
November
Vol. 68



厚生労働省認可 全国ベビーシッター協会
All-japan Babysitter Association.

発行所 全国ベビーシッター協会
〒160-0017 東京都新宿区左門町6-17YSKビル7F
TEL:03-5363-7455 FAX:03-5363-7456
URL:http://www.netcircus.com/babysitter
発行人 網野武博
編集 広報編集委員会
発行年月日 2009年(平成21年)11月
会員交流事業・広報啓発事業・調査研究事業・研修事業・資格認定制度事業等、これらの事業を通してベビーシッターは21世紀に貢献しています。

遷都1300年の歴史に恥じない街作りへ

(社)全国ベビーシッター協会名誉会長 巷野悟郎の 知事対談シリーズ 21



秋晴れの美しい10月19日、奈良県庁知事室に荒井正吾知事を、当協会名誉会長 巷野悟郎が訪問いたしました。当日は、「RALLY・NIPPON TOKYO-KYOTO 2009」の一環で約60台のクラシックカーが薬師寺や平城宮跡など奈良県内の世界遺産を巡った後、県庁前でセレモニーが行われており、たくさんの県民の方々に賑わっておりました。

奈良県 新井 正吾 知事

昭和20年1月生。昭和43年 東京大学法学部卒業。運輸省(現国土交通省)入省後、OECD日本政府代表部参事官、海上保安庁長官を経て、平成13年に参議院議員当選。外務大臣政務官等を努めた後、平成19年 奈良県知事に。座右の銘は好事不如無(好事も無きに如かず)、趣味は散歩。

知事：子どもを預けるのに、親・親戚や友達などの間で預けられるのが普通でしたが、それに代わるベビーシッターには、安心感を持てるのが大切ですね。
会長：そのために協会では、保険制度と研修制度の構築に力を注いで参りました。特に研修においては、認定ベビーシッターという資格制度を導入し、知識と経験を持つシッターの育成に努めています。短大や大学などの保育士養成校では、卒業時に保育士資格と同時に認定シッターの資格を取得できるカリキュラムを導入する学校が増えており、奈良でも来年度に1校が開講予定です。今後は県内でも、多くの認定シッターが創出されることでしょう。
知事：奈良県は全国的にも専業主婦率や核家族率が高いところですが、ニーズは何かですか。
会長：家庭での育児サポートはもちろんですが、最近増加している事業所内保育所や、企業のイベント・種々の学会時等の臨時託児室など、様々な場面でシッターは活躍しています。



家庭での子育ての大切さを
ぜひ遷都1300年を迎える奈良でも
キャンペーンで大きな動きへ
とを改めて感じます。
遷都1300年に向けて
会長：奈良は来年、遷都1300年を迎えられるそうですね、おめでとうございます。
知事：「せんとくん」のお陰で有名になりました(笑)。せんとくんは善財童子をイメージしており、善財童子は様々な指導者(善智識)53人を訪ね歩いて段階的に仏教の修行を積み悟りを開くという、菩薩行の理想者として描かれております。東海道五十三次や興福寺境内が猿沢の池から数えて53段目にあるのも、この数字に由来しています。遷都1300年祭は、昔の財産や資源を思い起こし伝統を確認することで、それらを今にも生かしているという願いが込められています。
会長：ありがとうございます。楽しみにしています。

奈良県では、少子化対策実施計画に基づき、「結婚や子育てに夢や希望をもつことができる社会の実現」を目指し結婚支援、子育て支援、家族支援を柱に各種施策を展開しております。特に結婚・出産・子育てを社会全体で応援するため、「なら結婚応援団」「なら子育て応援団」では、企業・店舗・NPO等地域が一体となって結婚や子育てを応援する取り組みを進めているところです。
平城遷都1300年祭 2010年開催
公式マスコットキャラクター「せんとくん」 Heijo-kyo 1300th Anniv.

緑と笑顔に包まれる奈良の子育て
会長：知事室からの眺めが素晴らしいですね、まさに緑が目の前に飛び込んでくるような感じですね。
知事：三笠山・若草山・東大寺、そして興福寺の五重塔が一望できるのが自慢です(笑)。自然の移り変わりを日々感じられるのは幸せですね。屋上は一般開放しており来庁者の皆様にも、この眺めを楽しんでいただいているのですよ。
会長：緑は大人にも優しいですが、赤ちゃんの脳にも良いという話を聞いたことがあります。
知事：中でも特に木々の葉が良いそうです。葉は光を乱反射し、この乱反射が柔らかい光を作り出し、それが脳に良い働きかけをすると、私も画家から聞いた覚えがあります。他に乱反射をするものとして、絵画や笑顔があるそうですね。
会長：お母さんの笑顔は、赤ちゃんが大好きなものです。それだけで効果がありますね。
知事：仏教用語で、顔施という言葉があります。お金や物で人に施しができなくても、和やかな笑顔で人に接していればそれだけで施しになるという意味で、まさしく子どもを見るお母さんの眼差しです。
会長：奈良は、緑と笑顔に包まれて、子育て環境として最高ですね。
知事：子育てで大切なのは環境であり、日常生活で触れる様々なものや人、つまり自然や家族などから精神力や生存力など、生きる力を自ずと学んでいくものだと思うのです。
会長：確かに都会では、自然に触れる機会が少ないので、自然の中の遊び方が分からないことがあります。子育て

でも同じで、自分が親になった時に子どもに対する接し方が分からない、子どもは大人を小さくしたものでない、ということが理解しにくいようですよ。教えるもらっていないから出来ない、ということでしょうか。
知事：今は子育てに関する情報が氾濫しており「教え」が余りにも多すぎるので、混乱している部分もあるでしょう。知識も大切ですが、もっと本能というものを信じて、もう少し余裕をもって子育てを楽しんでもらいたいですね。
会長：今日の結論になりました(笑)、本当にその通りです。ベビーシッターはご家庭に入り込んで育児のサポートをすることで、お母さんたちにゆとりを持って子育てを楽しんでほしいと願っています。

家庭育児の大切さ
知事：児童虐待という観点からも「孤母」を作らないように取り組んでいます。
会長：最近では、家庭訪問員にもドアを叩いてくれないというところも耳にしています。ベビーシッターのように家庭の中で一緒に子育てしてくれる身近な存在が必要ですね。具体的な子育て支援、母親支援などの取り組みを教えてください。
知事：県全体で実施すると、形式的・象徴的なイベントなどになりがちで、それでは余り意味がない、もっとお母さんたちが日常的に社会と触れ合えるように、例えば、商店で買い物をする時の会話や、図書館などの読み聞かせ会など、いわゆる井戸端会議に入り込める環境作りが必要ではないかと考えました。そこで、県と市町村が連携を取り合いながら、具体的には各地域の実情に応じて実施しています。熱心な首長がいるところは、驚くほど活性化しています。
会長：知事さんが、家庭での子育ての大切さをキャンペンされるとさらに大きな動きになると思いますので、ぜひお願いしたいのです。
知事：自分の子育て時期を振り返ると、忙しくて何も覚えていなくて(笑)、孫ができたらゆつくりと...と思っています。私自身は三世同居の中で育ち、祖母が子守り役でよく一緒に寺院にお参りに行ったりしました。日々の会話の中で祖母の教えが、私の基本にあると思っています。「天は見ている」とよく言われたのですが、今も難局に向かう時にはこの言葉をかみしめていますよ。
会長：家庭で学んだことは、一生のもので、よね、いかに家庭での育児が大切かというこ

小児科医 巷野 悟郎 名誉会長
東京大学医学部卒業 小児科医
都立駒込病院副院長、都立府中病院院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学科教授を経て現在
全国ベビーシッター協会名誉会長
社団法人母子保健推進会議会長
「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医からママへの手紙」(赤ちゃんとママ社)
「保健保育の基礎知識」(編著/小児医事出版社) など多数



小児科医 巷野 悟郎 名誉会長
東京大学医学部卒業 小児科医
都立駒込病院副院長、都立府中病院院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学科教授を経て現在
全国ベビーシッター協会名誉会長
社団法人母子保健推進会議会長
「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医からママへの手紙」(赤ちゃんとママ社)
「保健保育の基礎知識」(編著/小児医事出版社) など多数